

東 学校だより「チーム香南」

学校教育目標：未来を描き、個性を輝かせる生徒の育成
～主体的に地域社会に関わり、自ら考え、認め合い学び合う生徒の育成を目指して～
ホームページ：http://www.kochinet.ed.jp/konan-j/index.html

第3号
令和4年6月8日
南国市立香南中学校
学校長 安岡 裕高



➤ 学校運営協議会について

学校運営協議会は、学校運営に保護者・地域住民等が一定の権限及び責任をもって学校運営に参画することにより、そのニーズを迅速かつ的確に学校運営に反映させるとともに、学校、家庭及び地域社会がそれぞれの役割を果たしながら相互に連携し、一体となって子どもたちの教育に取り組むことを目的としています。

本校では、5月13日（金）に、令和4年度第1回香南中学校学校運営協議会を開催し、本年度の学校経営方針等の確認を行うとともに、意見交換を行いました。ホームページでの情報発信を続けることや、コロナ感染症対策で停滞していた地域との交流も再開していくこと等の意見をいただきました。また、委員の方の要望を受け、「学校だより」を今月号から「A4判」に変更させていただきました。



➤ 起震車体験【5月17日（火）】

5月17日（火）に、1・2年生の起震車体験を行いました（3年生は昨年度実施）。起震車は本年度新しくなり、より実際の地震に近い揺れを安全に体験できるようになっていました。地震の揺れを体感することで、地震を身近に感じ、身を守る行動を的確にとれるようになったと思います。



➤ 避難訓練・防災教育講話【5月20日（金）】

5月20日（金）には、掃除中の地震避難訓練を行った後、5時間目に高知大学の岡村 名誉教授に「地域の災害と中学生としての意思と役割」と題して講話をいただきました。岡村名誉教授から、地震の揺れから身を守る際、「机の脚を対角で持つこと」、「ダンゴムシの姿勢の際は、落下物等から首筋を守ること」、「校舎の耐震化は済んでいるので、揺れが収まったら各教室に避難することは理にかなっている」等のアドバイスをいただきました。また、来る南海トラフ巨大地震について根拠を示しながら分かりやすく説明をしていただきました。南海トラフ巨大地震にどう備えるか考えながら真剣に講話を聞いていました。



➤ 地域ぐるみの避難訓練（大湊地区）【5月28日（土）】

5月28日（土）に、大湊地区で地域ぐるみの避難訓練が行われました。大湊地区の中学生も参加していました。地域の方からも、「中学生がこれだけ多く参加してくれたのは初めてかもしれない。」「自主防災組織の活動に中学生が協力してくれたら心強い。」等の声をいただきました。学校で被災した場合は、教職員のサポートも受けられますが、自宅等で被災した場合は、状況によっては、自分の判断で自分の命を守る必要があります。地域の人と顔見知りになっておくとともに、避難場所の確認等ができる今回のような地域での避難訓練はとても重要になります。次回、日章地区の避難訓練（全校生徒で参加）は、11月6日（日）を予定しています。



➤ 救急救命講習【6月2日（木）・3日（金）】

6月2日（木）に1・3年生が、3日（金）に2年生が救急救命講習を行いました。コロナ感染症対策で、2年間開催できていませんでしたので、全学年で実施しました。応急手当と救命処置として、止血や心肺蘇生法、AEDの使用方法を学びました。全課程を受講できた生徒の皆さんには、普通救命講習Ⅰの修了証が手渡されています。



➤ 令和4年度 土佐・長岡郡南国市 中学校 体育大会

本校の各運動部の生徒が出場し、それぞれにベストを尽くしました。※入賞おめでとうございます。

サッカー部 第2位、女子バレー部 第3位、女子バスケ第3位、卓球部（団体）第2位・（個人）第1位・第2位

※香南中学校ホームページでも情報発信を行っています。アクセス数は、5月に500件ほどいただいております。タイムリーな情報発信を行っていますので、ホームページもご覧ください。